

平成21年3月

with YOU Vol.17

発行 / 熊本市教育委員会

まちかどのいたるところで! 登下校中の子どもたちに、声かけをお願いします



大人の責任
みんなで育てよう
熊本の子どもたち

Check!

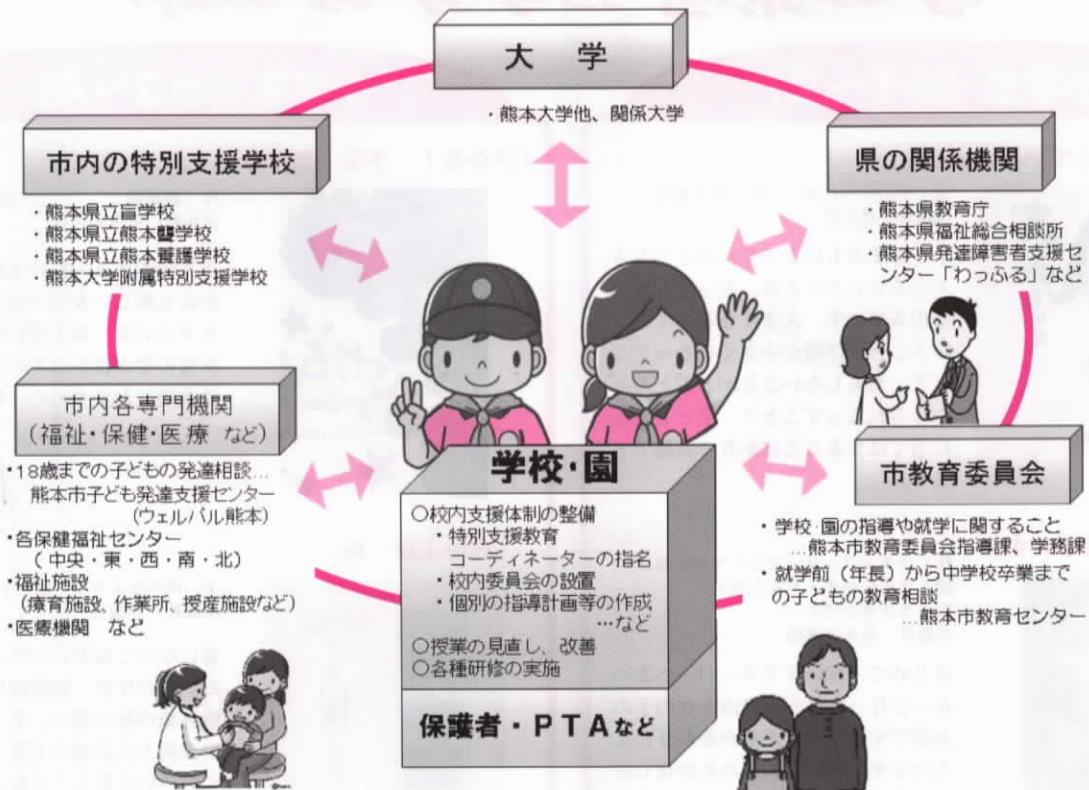
お問い合わせ先 〒860-8601 熊本市手取本町1-1 熊本市教育委員会総務企画課 TEL 328-2703 FAX 359-6951

e-mail:kyouikusuumukikaku@city.kumamoto.lg.jp

アドレス <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/> (トップ → 人権・学び・文化・スポーツ → 教育・学校 → 教育広報誌「with you」)

連携して支える『特別支援教育』

～学校、園、保護者、関係機関等の
信頼関係に基づいた支援体制～



特別支援教育のネットワークづくり

学校・園、保護者、関係機関などが、よりよい形でつながっていくことは、特別な教育的支援を必要とする子どもたちが安心して学べる環境づくりに必要です。熊本市では、お子さんを支える関係者同士が連携して支えるネットワークづくりを進めています。



学校・園では、「特別支援教育」に取り組んでいます。



- 特別支援教育コーディネーターの先生を中心に、特別な教育的支援が必要な子どもたちを支える体制を整えています。すべての学校・園に校内（支援）委員会が設置されており、お子さんにあった支援方法を話し合いながら、指導にあたっています。また、必要に応じて、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」等を、保護者の方と一緒に作成しているところです。
- 先生方は、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を進めるために、関係機関と連携しながら、研修を行っています。
- お子さんの特性にあわせて学ぶことができる通級指導教室や、特別支援学級が設置されている学校もあります。

お子さんのことについて 気になるときは…

私たち大人が、お子さんの苦手意識や、細かいサインに気付いてあげることが大切です。
学習面、生活面等で気になることがありましたら、まず、学校・園までご相談ください。



家庭教育はすべての教育の出発点です

子どもが基本的な生活習慣・生活能力や人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善惡の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で家庭教育は重要な役割を担っています。

家庭教育力の低下

～約8割の親が家庭の教育力が低下していると実感～



国立教育政策研究所生涯学習政策研究部

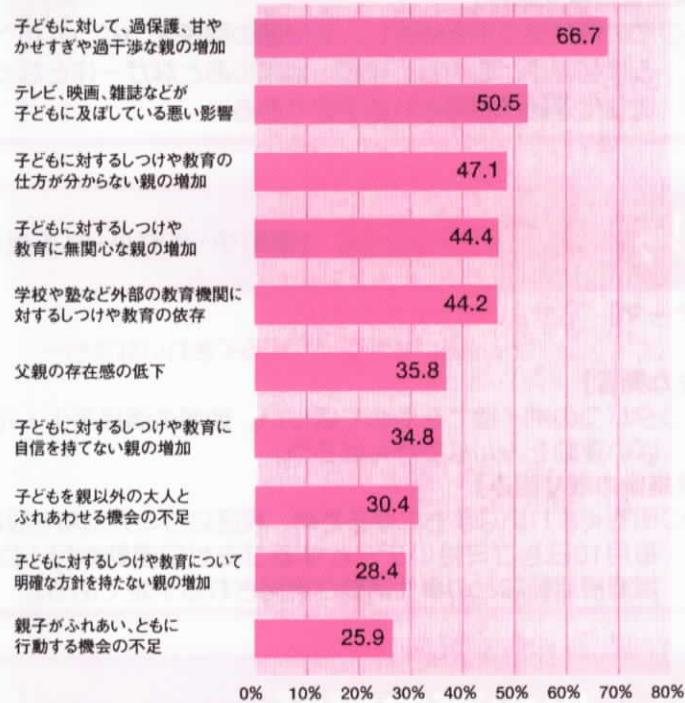
「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成18年度)

調査対象:子どもを持つ親8,400人に調査、そのうち940人からの回答結果



家庭教育力の低下の理由 (上位10項目)

～子どもに対して、過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加～



国立教育政策研究所内家庭教育研究会

「家庭の教育力再生に関する調査研究」(平成13年)

調査対象:子どもと同居する親のうち、25~54歳の男女 3,859人

～家庭で、次のようなことに取り組んでみてはいかがですか～

- ・我が家の生活の約束事やルールをつくりましょう
- ・子どもが愛されていると実感できるコミュニケーションをとりましょう

～家庭教育についてみんなで考えてみませんか～

■家庭教育セミナー

子どもとの接し方のアドバイスや、家庭でのしつけのあり方など、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣します。

PTA や子ども会等での学習会などでご活用ください。

■家庭教育学級

小中学校に開設されている家庭教育学級では、家庭で子どもの教育にあたる場合の悩みや課題を持ち寄り、話し合ったり、講話を聴いたりすることで保護者の教育力を高めています。

教育委員会活動の点検・評価を実施しました。

熊本市教育委員会では、市民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会活動の点検評価を実施し、報告書にまとめました。

点検評価の項目は、①教育委員会の活動及び運営状況、②教育委員会事務局が実施する事務事業についてです。詳しくは、熊本市役所のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

お問い合わせ先：生涯学習課 TEL(096)328-2736

熊本市子どもフォーラム

熊本市教育委員会では、平成10年度から「熊本市子どもフォーラム」を開催しています。子どもたちが、地域のおとなの方々とともに日ごろの思いや願いを自由に述べ合うことによって、参加した地域の方々が子どものことを深く理解し、お互いに学び合うことと、「児童の権利に関する条約」の周知を目的としています。

市では、この子どもフォーラムについて、平成22年度までに全中学校区での開催を目指しています。

平成20年度は、城西・東町・出水南・北部の4中学校区で開催しました。それぞれの取り組みについて紹介します。

知っていますか？

「児童の権利に関する条約」は、1989年(平成元年)に国連で採択され、日本も平成6年に批准しています。

この条約は、すべての子どもたちに、

- ・子どもの最善の利益
- ・意思表明権
- ・表現、情報の自由
- ・プライバシー、通信、名誉の保護等の権利を保障しています。



子どもの声

- 中学生や他の小学生と一緒に活動できてよかったです。
- たくさんのおとなの人と顔見知りになれてよかったです。

おとなの声

- どの小・中学校も子どもたちの意見発表がよかったです。
- 子どもたちの活動を見守っていきたい。
- 子どもたちの満足感を肌で感じることができた。

成果

- 子どもたちは、企画段階から、フォーラム実行委員会に参加したり、子どもスタッフとして積極的に活動したりしたのがよかったです。
- 保護者や地域のおとなの参加が、4会場で約500人と、以前より増加してきた。



平成20年度の取り組み

10/18 城西中校区 (城西中・松尾東小・松尾西小) (松尾北小・小島小・中島小)

[テーマ] “わが街城西中校区、心も自然もやさしさいっぱい”

[主な発言]

○この環境をずっと残し、小学生の後輩たちに充実した毎日を過ごしてもらいたい。

[実施後の取り組み]

○蛍の飛び交う川をめざし、EM菌の団子をつくって川へ投げるなど、子どもたちと学校・地域のおとなが一体となって環境美化運動が展開される予定である。



11/2 東町中校区 (東町中・東町小・健軍東小)

[テーマ] “心かよい合うまちづくり”

～あいさつ響く、明るくきれいなまち～

[主な発言]

○タバコのポイ捨てをやめてほしい。地域の清掃美化・花いっぱい運動をみんなでがんばろう。

[実施後の取り組み]

○明るくきれいなまちにするため、校区にゴミ分別箱を設置し、毎月10日をゴミ拾いデーとするゴミゼロ運動や月1回の地域清掃活動などの奉仕活動が実施される予定である。



12/6 出水南中校区 (出水南中・画図小)

[テーマ] “Yes or No”

～子どもにケータイっているの？ いらないの？～

[主な発言]

○何となくケータイが欲しいと思う気持ちがあるが、いらないと思う。

[実施後の取り組み]

○子どもフォーラムスタッフの子どもたちが中心に考えたケータイに関する呼びかけを載せたのぼり旗や宣言文のチラシを作成し、中学区内に設置・配布することにより地域へ発信していく予定である。



12/7 北部中校区 (北部中・川上小・西里小) (北部東小)

[テーマ] “わたしたちのまち北部中校区

～過去から現在そして未来へ～

[主な発言]

○住みよいまちにするためには、それぞれの校区が協力してみんなで何ができるかを考え、一緒に活動してみてはどうか。

[実施後の取り組み]

○住みよい北部中校区にするために子どもたちが考えたアピールが入ったのぼり旗を立てて、校区に発信する予定である。



次年度開催予定校 長嶺中校区(長嶺中・託麻南小・長嶺小)・河内中校区(河内中・河内小(白浜分校))

天明中校区(天明中・中緑小・錢塘小・川口小・奥古閑小)・芳野中校区(芳野中・芳野小)

熊本市立図書館へ行こう!

春の新書おすすめの本

小学生（小1～2）

『おおきくなるっていうことは』



文：中川ひろたか 絵：村上康成
出版社：童心社

小さな子どもにとって、ひとつ大きくなるっていうことは、とっても重大な出来事です。大きくなるってどういうこと？洋服が小さくなるってこと？おもしろいことがどんどんみつけられるってこと？子どもたちに当てはまるところばかりで共感できます。

『わたしの足は車いす』



作：フランツ＝ヨーゼフ・ファイニク
絵：フェレーナ・バルハウス
訳：ささきたづこ
出版社：あかね書房

はじめて、車いすでスーパーへおつかいに行った足が不自由な女の子のお話です。車いすが足のかわりになるのです。まわりの人たちの接し方がさまざまに描かれており、障害を持っている人の気持ちがわかります。

小学生（小3～4）

『ひかる！ 本気。負けない！』



作：後藤竜二 絵：スカイエマ
出版社：そうえん社

主人公のチヨー負けず嫌いの少女ひかると新しい友達や先生との出会いとドッジボール大会に向けて頑張る少女の姿が描かれています。出会いの季節におすすめの一冊です。

『春の主役 桜』



文：ゆのきようこ 絵：早川司寿乃
出版社：理論社

春になって桜がいっせいに咲きました。桜の生態、桜前線の不思議、日本各地の桜の違い、名木…。案内役の天狗と犬が春の主役「桜」についていろいろ教えてくれます。

きれいな絵と色が楽しめる絵本です。

小学生（小5～6）

『人生って、なに？』



文：オスカー・ブルニフィエ
訳：西宮かおり
絵：ジェローム・ユイエ
日本版監修：重松清 出版社：朝日出版社

「人生」とは…「自分」とは…楽しく考える絵本。6つの大きな問題へのいろいろな考えを紹介。じっくりと考えることあなたの答えをさがしてみましょう！

『頭のうちどころが悪かった熊の話』



作：安東みきえ 絵：下和田サチヨ
出版社：理論社

熊って頭をうつのでしょうか？ぶつかってもよし、うたれてもよし。頭のうちどころの悪いところをためしてみましょう。

読みやすい短編集です。

中学生

『狐笛のかなた』



作：上橋 葉穂子
出版社：理論社

ひとの思いが聞こえる「聞き耳」の才を持つ少女・小夜と助けた子狐の物語です。相手を想う純粋な気持ちに胸があつくなります。春の野の香りと、なつかしい風景も思い出させてくれそうです。

『医学のたまご』



作：海堂 尊
出版社：理論社

中学生がなんと医学生に…。苦境を切り抜けていく様がドキドキします。そんな中、すごい発見もしてしまったらしい…。

医学の未来への熱い思いが描かれたコミカルで爽やかな医学ミステリーです。